

第1回 全国ユース環境活動発表大会



2月13日、14日の2日間、東京の国連大学で第1回全国ユース環境活動発表大会が開催されました。1日目は「ESD学びあいフォーラム」が、2日目には発表の本番「全国ユース環境活動発表大会」が行われ、高校生の熱い想いが会場中を満たしました。表彰式には丸川環境大臣も出席。2日間の様子をレポートいたします。

ご挨拶



環境大臣 丸川 珠代 氏

本日は、「第1回全国ユース環境活動発表大会」に、全国から大勢の方にご参加いただき、主催者として、まず御礼申し上げます。

高校生の皆さんにおかれては、素晴らしい発表をありがとうございました。活動の内容を見ると、調査研究、設備・商品開発、地域への普及啓発活動など多岐にわたり、高校生ならではの創意工夫がなされた素晴らしい取組だと思います。また、審査委員の方におかれましては、長時間にわたり審査をしていただき、誠にありがとうございました。この場を借りて御礼を申し上げます。

本日、ご発表いただいた取組は、どれも持続可能な社会の形成につながるものです。2014年12月に国連総会で採択された「ESD(持続可能な開発のための教育)に関するグローバル・アクション・プログラム」においては、人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を送るためには、皆さんのような若者が積極的に社会に参加し、変革を進めていくことが重要とされています。

高校生の皆さんは、いわば、このかけがえのない地球を未来につなぐ担い手となる存在です。この2日間で得た「学び」や「つながり」を通じて、今後は、地球的な視野をもって環境活動に取り組み、ぜひ、その成果を世界に向けて発信いただければと思います。

最後に、本日ご来場の方々のますますのご発展を祈念いたしまして、簡単ではございますが、私のごあいさつとさせていただきます。